

有明工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	英語コミュニケーションB	
科目基礎情報							
科目番号	3Z007-4			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	創造工学科(メカニクスコース)			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	前期:1 後期:1		
教科書/教材	MY WAY English Communication Ⅲ New Edition : 三省堂						
担当教員	三戸 健司,山下 和美						
到達目標							
到達目標 1.情報や考えなどについて、英語で話し合ったり意見の交換をしたりすることか”で”きる。情報や考えなどについて理解し、英語で簡潔に書くことか”で”きる。 2.英語を聞いて、情報や考えなど”を理解したり、概要や要点を捉えたりすることか”で”きる。英語を読んで”、情報や考えなど”を理解したり、概要や要点を捉えたりすることか”で”きる。 3.英語の仕組み、使われている言葉の意味や働きなど”を理解しているとともに、言語の背景にある文化を理解している。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	情報や考えなど”について、英語で”話し合ったり意見の交換をしたりすることか”で”きる。情報や考えなど”について理解し、英語で”書いて”説明したりで”きる。			情報や考えなど”について、英語で”話し合ったり意見の交換をしたりすることか”で”きる。情報や考えなど”について日本語を交えて”英語で”説明で”きる。		情報や考えなど”について、英語で”話し合ったり意見の交換をしたりすることか”で”きない。情報や考えなど”について説明で”きない。	
評価項目2	英語を聞いて、情報や考えなど”を理解したり、概要や要点を捉えたりすることか”で”きる。英語を読んで”、情報や考えなど”を説明したり、概要や要点を捉えたりすることか”で”きる。			英語を聞いて、情報や考えなど”を理解したり、概要や要点を捉えたりすることか”で”きる。英語を読んで”、情報や考えなど”を説明で”きる。		英語を聞いて、情報や考えなど”を理解したり、概要や要点を捉えたりすることか”で”きない。英語を読んで”、情報や考えなど”を説明で”きない。	
評価項目3	英語の仕組み、使われている言葉の意味や働きなど”を把握するとともに、言語の背景にある文化を説明で”きる。			英語の仕組み、使われている言葉の意味や働きなど”を説明で”きる。		英語の仕組み、使われている言葉の意味や働きなど”を説明で”きない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 A-1 学習・教育到達度目標 A-3							
教育方法等							
概要	国際感覚を備えた技術者となるためには、英語によるコミュニケーション能力は必要不可欠なもので”ある。この科目においてはコミュニケーション能力の中の「読む」能力の養成に焦点か”絞られている。低学年時に培った英語力を対人コミュニケーションの場において使用するためには、より難解な文章を速やかに読みこなすことか”で”きる英文読解能力か”必要不可欠で”ある。今後ますます技術者か”海外へ渡る機会か”増えていく実情を考えると、専門分野を問わず”技術者にとって英語か”欠かすことので”きないものとなることを認識しなければ”ならない。本授業で”は、2つの目標を設定する。第1の目標は、与えられた英文を速やかに理解すると同時に、自分にとって必要な情報を英文からスキミング”する能力を獲得すること”である。リーディング”をより速く行うためには、自分にとって必要な情報か”何な”のかを明確に意識した上で”、情報を取捨選択しつつ英文を読み進める必要”か”ある。このような「英文を読む上で”のスキル」をより深めることか”この科目の主たる目標”である。 第2の目標は、4年次に校内で”行われる TOEIC IP を受験するために必要”な語彙力の獲得、英文法理解を達成し、400点を越えるポイント”を獲得で”きるた”けの英語運用能力を身につけること”である。長文か”多く出題される TOEIC においてスピー”ート”リーディング”および”スキミング”は必要不可欠な技能”であるといえる。3年生にふさわしい語彙力を身につけつつ、これらの技能を向上させることか”求められる。						
授業の進め方・方法	メインテキストの偶数レッスンを基に、英文読解中心の講義で進めていく。						
注意点	評価方法:各定期試験の成績 60%、レポート・ノート等の提出物や小テストの成績 40%の比率で”評価 評価基準:60 点						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス		授業の進め方や評価方法について理解できる。		
		2週	Reading Skill 2 フレーズ・リーディング The Toughest Creatures		世界最強の生物、クマムシについて、英語で説明できる。		
		3週	Reading Skill 2 フレーズ・リーディング The Toughest Creatures		パラグラフと話題文の構成を理解し、文の構成を理解して英文を読むことができる		
		4週	Reading Skill 2 フレーズ・リーディング The Toughest Creatures		賛成・反対するときの英語表現を理解し、運用できる。		
		5週	Reading Skill 2 フレーズ・リーディング The Toughest Creatures		初対面の人と会話をする際に「最初の4分」が重要であることについて学び、初対面の人と効果的な英語コミュニケーションができる。		
		6週	Reading Skill 2 フレーズ・リーディング The Toughest Creatures		英文中のディスコースマーカーの働きについて理解し、運用することができる。		
		7週	Reading Skill 4 未知語の推測 A Paper Architect: Shigeru Ban		経験を述べるときの英語表現を理解し、運用できる。		
		8週	前期中間試験		授業で学んだ知識を利用して、学習した内容を振り返りながら試験に取り組むことができる。		

後期	2ndQ	9週	Reading Skill 4 未知語の推測 A Paper Architect: Shigeru Ban	紙の建築家、坂茂の活動について学び、英語で説明できる。
		10週	Reading Skill 4 未知語の推測 A Paper Architect: Shigeru Ban	付帯状況を表す with を用いて、様々な状況を英語で説明できる。
		11週	Reading Skill 4 未知語の推測 A Paper Architect: Shigeru Ban	場面描写するときの英語表現を理解し、運用できる。
		12週	Reading Skill 4 未知語の推測 A Paper Architect: Shigeru Ban	紙の建築家、坂茂の活動について学び、自身の将来像について英語で話すことができる。
		13週	Reading Skill 6 ディスコースマーカー：列挙・例示 GET Wild Raccoon Dogs in Tokyo	関係代名詞 what の使い方を理解し、主語や目的語として運用できる。
		14週	Reading Skill 6 ディスコースマーカー：列挙・例示 GET Wild Raccoon Dogs in Tokyo	自分の考えを述べるときの英語表現を理解し、運用できる。
		15週	前期末試験	授業で学んだ知識を利用して、学習した内容を振り返りながら試験に取り組むことができる。
		16週	前期末試験返却	前期末試験を振り返って、定着していない英単語・熟語・文法事項について復習し、知識の定着を図ることができる。
	3rdQ	1週	夏課題試験返却	夏課題を振り返って、定着していない英単語・熟語・文法事項について復習し、知識の定着を図ることができる。
		2週	Reading Skill 6 TRY The Language Café	東京都心に住むタヌキについて、科学にまつわる英語を利用して話すことができる。
		3週	Reading Skill 6 TRY The Language Café	言語を楽しむカフェを運用できる。
		4週	Signs Around Town 1（街なかの英語 アメリカ編） ／Words and Culture 1（ことばと文化 KEY）	ことばと文化の英語表現を理解し、運用できる。
		5週	Reading Skill 8 ディスコースマーカー：比較・対照 GET Shortened Words in Texting	携帯電話メールでの省略語について英語で説明できる。
		6週	Reading Skill 8 ディスコースマーカー：比較・対照 GET Shortened Words in Texting	関係代名詞の非制限用法の和訳をすることができる。
		7週	Reading Skill 8 TRY Plant Factories	携帯電話メールでの省略語の英語表現を理解し、運用できる。
		8週	後期中間試験	授業で学んだ知識を利用して、学習した内容を振り返りながら試験に取り組むことができる。
	4thQ	9週	Reading Skill 8 TRY Plant Factories	携帯電話メールでの省略語に必要な考え方について、友人と英語で話し合うことができる。
		10週	Reading Skill 10 スキミング GET Thirty-Six Views of the Eiffel Tower	強調構文の構造を理解し、和訳・英訳することができる。
		11週	Reading Skill 10 スキミング GET Thirty-Six Views of the Eiffel Tower	抽象的な概念についての説明をするときの英語表現を理解し、運用できる。
		12週	Reading Skill 10 TRY Blue Roses	パリの『エッフェル塔三十六景』について、英語で友人と話し合うことができる。
		13週	Reading Skill 10 TRY Blue Roses	青いバラの誕生について理解し、実際に情報を読み取ることができる。
		14週	Words and Culture 2（ことばと文化 MOON） ／Read Aloud 1（ナースリータイム） ／Idioms（英語の慣用句）	英語の慣用句について説明するときの英語表現を理解し、運用できる。
		15週	学年末試験	授業で学んだ知識を利用して、学習した内容を振り返りながら試験に取り組むことができる。
		16週	学年末試験返却	前期末試験を振り返って、定着していない英単語・熟語・文法事項について復習し、知識の定着を図ることができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	後16
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	後16

		英語運用能力の基礎固め	平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	後16
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	前16
		英語運用能力向上のための学習	英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	2	後12
			関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	2	後11
			関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	2	後11
			英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	2	後11

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	40	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	40	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0